

# あけぼのパーク多賀フェスタ

開館 15 周年  
アケボノゾウ発掘 20 周年

10 月 13 日 (日)



開会宣言はあけぼのパーク館長



多賀町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」も応援にきてくれました



オープニングイベントは近江猿楽多賀座の公演



あけぼのパーク多賀開館の平成 10 年秋 (1997 年) から今までのトピックを紹介した「開館 15 周年のあゆみ展」(2 日間)



一箱古本市では 13 人の箱主さんがこだわりをもってセレクトした古本を持ち寄り、本を通じて来店者の交流がさかんに行われました。



あけぼのカフェはめだかの学校によるコーヒー、シフォンケーキ、杉の子作業所によるクッキーの販売をおこないました。



県立大学多賀タウンプロジェクト (TTP) は 10 年間の活動を展示 (2 日間) で紹介。

野外の人工芝広場では「多賀うまいもん市～たべる編」は、多賀町商工会・県立大 TTP・Coco一番・杉の子作業所・あけぼのパークで、多賀そば、糸切り餅、カレー、フランクフルト、つくね棒を販売。



「うまいもん市 ～作る編」県立大学 TTP・木匠塾の間伐材を利用したのペンダント作り →



「～しゃべる編」県立大学 TTP の発表は、発足当時の OG と多賀町商工会とともに多賀町の良さについて意見交換。

創立 20 年を迎える多賀座のみなさんが「王の舞」「多賀鬼剣舞」「淡海御神楽」「獅子舞」を熱演 ↓

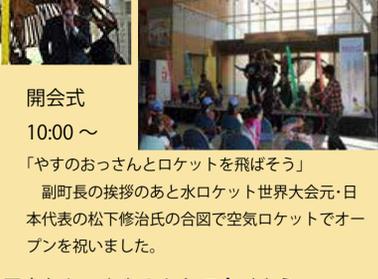


情報学習コーナーに「アケボノゾウ発掘から 20 年～新たな発見を求めて」の展示。今年度スタートした 多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト の一次発掘の報告や、アケボノゾウ実物大復元図「アケボノゾウの群れ」(成安造形大学の小田隆氏とみなくち子どもの森小西省吾氏の制作) の展示。実験室で、プロジェクトに関連した第 4 回「親子化石発掘体験」で発掘で掘り上げられた粘土から含まれる化石を見つける実習をしました。(14 時～16 時)

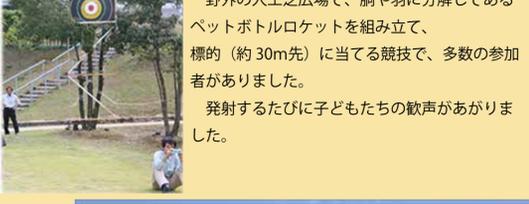
17 時からホール  
のステージでは  
狂言師山本豪一  
さんの「狂言よも  
やまばなし」  
狂言の歴史や鑑賞  
するときの基本的  
な知識の解説  
・実演  
→



10 月 14 日 (月・祝)



開会式 10:00～  
「やすのおっさんとロケットを飛ばそう」  
副町長の挨拶のあと水ロケット世界大会元・日本代表の松下修治氏の合図で空気ロケットでオープンを祝いました。



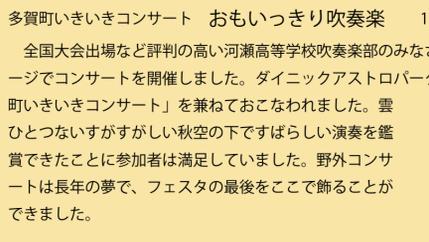
ペットボトルロケットで遊ぼう 11:00～  
野外の人工芝広場で、胴や羽に分解してあるペットボトルロケットを組み立て、標的(約 30m 先)に当てる競技で、多数の参加者がありました。  
発射するたびに子どもたちの歓声があがりました。



巨大なケーキをみんなで食べよう 13:30～  
～ケーキの中から化石を見つけよう～



アミンチュプロジェクトのみなさんによるアケボノゾウ発掘 20 年を祝うステージイベントが行われ、親子連れが多く訪れました。やすのおっさん、コアラ G、原始人、ちんどんおばちゃん、ぞうガールなどのキャラクターの登壇により会場はたいへんな盛り上がりとなりました。メインの「巨大ケーキ」は切り分けられて参加の子どもたち全員に配布されました。ケーキに埋められたアケボノゾウの骨や足跡化石を発見して歓声があがりました。最後はアミンチュによる体操で終わりました。



多賀町いきいきコンサート おもいきり吹奏楽 15:00～



演奏終了後、多賀町の久保町長からのお礼を兼ねた閉会の挨拶でしめくられました。